

教育目標	社会に貢献し、期待され、愛される人間を育成する	評価基準 A : 十分達成(定着)できた 75%以上 B : おおむね達成(定着)できた 50～75% C : あまり達成(定着)できなかった 20～50% D : 全く達成(定着)できなかった 20%未満
目指す生徒像	1 (地域貢献) 地域社会の一員としての役割を担い、主体的に活躍できる生徒 2 (学力拡充) 志を高く持ち、目標に向かって意欲的に学ぶことができる生徒 3 (心身錬磨) 素直な心を持ち、謙虚な姿勢で自己研鑽することができる生徒 4 (自律協働) 自己を律する規範意識を持ち、他者を思いやり協働できる生徒	
今年度の重点目標	1 分かる授業の推進(学習指導) 2 希望の創造(進路指導) 3 「ASKしてる!」の推進(生徒指導) 4 部活でドリカム(一層の活性化) 5 社会性の育成(地域社会活動への参加)	

評価のまとめ: 総合評価

A 分掌1、委員会1  
 B 学科4、分掌8 学年2、委員会1、教科10  
 C 学年1 \*D評価なし

《学校自己評価》 評価Aとした項目

《学校関係者評価》

重点目標	評価項目・達成目標、具体的な取組み状況	成果・達成度	改善点	評価	学校関係者評価委員会の意見	評価
◎各校務組織の重点目標  <目標スケジュール表>に基づく評価者: 各組織	項目ごとのA評価具体例 <b>【創デ】項目5 社会性の育成:</b> 地域貢献と積極的な広報活動により、選ばれる学科を目指す。 <b>重点目標:</b> 地域・企業との協働企画を積極的に実施し、生徒の教育効果拡充と外部評価の向上の両立に努める。 <b>具体的取組:</b> 地域の各種行事コンテストに積極的な参加	菰山城絵馬デザイン・長久保城御城印(第2弾)制作、御殿場市公用車ラッピング・長泉町原付ご当地ナンバープレート・長泉町マンホールデザインにコンクール参加・三島市浄化センターワークショップ・ラボキュリオ主催ワークショップにボランティアスタッフとして参加		A	地域の方々に見ていただく良い機会である。知徳高校の取り組みをアピールする場としても有効である。中学校ではなかなかここまでできないので感心する。このような取り組みを新聞等によく見かける。	A
	<b>【環境整備】項目3 生徒指導:</b> 健康・安全の計画的実施 <b>重点目標:</b> 快適な学習環境の推進 <b>具体的取組:</b> 全校的な清掃の取り組みと公共物の	全体的に生徒達は綺麗に使用していた。先生方・生徒達の協力で綺麗な学習環境をつくる事ができた。ゴミステーションは美化		A	生徒の学習環境は大変重要である。地道な取り組みは評価に値する。	A

	<p>丁寧な取り扱い。生徒美化委員会の活用。</p> <p><b>項目5 社会性の育成</b>：協力と奉仕の精神を涵養  <b>重点目標</b>：奉仕活動による地域貢献(学年・部活動)  校内美化(各部活動による奉仕活動)  <b>具体的取組</b>：学年部の取り組み、各部部活動の取り組みと協力。</p> <p><b>【保健指導】項目3 生徒指導</b>：(基本的生活習慣・健康)  <b>重点目標</b>：自己管理の徹底  <b>具体的取組</b>：・各種講演を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SST(ソーシャルスキルトレーニング)、</li> <li>・SSW(スクールソーシャルワーカー)への相談</li> <li>・スポーツ振興センターの保険利用</li> <li>・保健室利用者数 478名(1月まで)。</li> <li>・相談室の活用と保健室、生徒の来室や出席停止等の記録を毎日報告。相談室、1週間の活動記録を毎週末回覧。</li> </ul> <p>・体育科との連携</p>	<p>委員が大変しっかりと役割を果たした。各分掌で不要な文書・書籍が沢山出たところで、倉庫へ収納することができた。</p> <p>すべての学年で奉仕作業を実施。様々な部活動が、地域でのゴミ拾いを行った。学校行事の度に多くの部活動が協力して綺麗な環境で学校行事を行うことができた。特に、吹奏楽部は掃除担当が及ばない管理棟1階の清掃を担当し、綺麗にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症予防講座(5月)、がん教育(7月)、薬学講座(12月)</li> <li>・毎月第4金曜日に実施。受講者数 27名。今年度6回。</li> <li>・1月までで17件。</li> <li>・R5年度5件。子ども医療の利用が増えたため減少傾向。</li> <li>・相談室面談者 1年 19名、2年 19名、3年 20名 合計 58名 面談回数 624回(1月まで)。</li> <li>・相談室だより 10号発行。</li> </ul> <p>・授業前のランニング・筋肉トレ</p>		<p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p>	<p>同上</p> <p>SST, SSWなど他校にない取り組みが見られる。昨年はヤングケアラーの対応についても説明があった。さらに進んだ取り組みができています。相談室の早急な対応や取り組みで学校生活に復帰できている生徒がいることがわかり良かった。また、エピペンの講習など、生徒の安心安全に向けてきちんと取り組んでいることがわかる。</p>	<p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p>
--	---	--	--	---------------------------------	--	---------------------------------

	<p>・職員研修</p> <p><b>【研修】項目1 学習指導：職員研修</b>  <b>重点目標：</b>連絡、調整、運営  <b>具体的取組：</b>研究授業、公開授業の実施、</p> <p><b>項目1 学習指導：指導法の研究</b>  <b>重点目標：</b>指導力の向上  <b>具体的取組：</b>ICT活用による個別最適な研修</p> <p><b>【図書】項目1, 2 学習指導、進路指導：蔵書管理</b>  <b>重点目標：</b>蔵書管理システムの維持  <b>具体的取組：</b>パソコンでの蔵書管理・貸出延滞状況の把握、貸出率の向上、ブックポストの活用</p>	<p>ーニングを実施。体力向上・健康維持に努める。</p> <p>・新任教員を対象にエビペン講習を実施。応急手当普及員講習、今年度は新規・再講習なし。資格所有者は4名（体育科、福祉科、保健指導部）。</p> <p><b>【研修】【聞く→聞く→聞く→帰る】</b>研修から、<b>【聞く→考える→対話する→気付く、変わる】</b>研修へのシフトができつつある。</p> <p>保護者対応や生徒指導など、ファインド・アクティブラーナーを活用した個別最適な研修を行うことができた。一般社団法人アクティブ・ラーニング協会から、「ACTIVE TEACHER 輩出校 2023」として選出された。</p> <p><b>【図書】</b>蔵書システムソフトによる蔵書管理・貸出は軌道に乗った。今年度の貸出数は3714冊(1月31日現在)。(昨年度は4564冊)。傾向として、図書館に足を運ぶ生徒は以前と変わらないが、本を借りる生徒が少ない。</p>		<p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p>	<p>ただでさえ多忙な中、職員の研修が良い方向にシフトしているということは先生方の意識が素晴らしいと評価できる。</p> <p>若者がICTに依存し書物離れが指摘されている。そんな中でも図書館が居場所を求める生徒にとって安心できる場所になっていることがうかがえる。</p>	<p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p>
--	---	---	--	---	--	---



	<p><b>【2 学年】項目 1、2 学習指導・進路指導：</b>  <b>重点目標：</b>学習諸活動の充実  <b>具体的取組：</b>検定新規取得率 80%、</p> <p>漢字コンクール学年平均 80 点以上、</p> <p>学習量の確保</p> <p><b>【2 学年】項目 3 生徒指導：</b>  <b>重点目標：</b>自己管理能力  <b>具体的取組：</b>・生徒指導件数 0 件の達成</p> <p>・無遅刻ウィークの実施（無遅刻の達成）</p>	<p><b>【2 学年】</b>  ・新規取得率 52.2%（英検、漢検、文書検定、ビジネス文書、簿記、プログラミング、情報処理、サービス接遇、手話、レタリング他→意欲は高かったが、取得に結びつかなかった。学科コースでほぼチャレンジの機会がなかった。</p> <p>・1 学期学年平均 72.4 点（70 点達成 7 クラス）、2 学期学年平均 61.8 点（70 点達成クラス 3 クラス）→2 回とも 100 点が 6 名。もう少し全体的に盛り上がると良かった。</p> <p>・1 年生の時よりも意欲は上がっていた。テスト前や検定前には頑張る。毎日の家庭学習時間は 1 時間にも満たない。</p> <p><b>【2 学年】</b>  ・2 年生の問題行動は減少傾向。0 件達成はできなかった。</p> <p>・無遅刻 W 実施時遅刻数（1 学期 2 5 回、2 学期 1 5 回 両学期ともに</p>	<p>の必要性を感じた。教科担任一人で、生徒全員が Pad を効果的に使っているか検証が必要。</p> <p><b>【2 学年】</b>  ・学科の特性で、同じ知徳生で検定の取得率に大きく違いが出てしまうことを今後考えても良いのではないか。</p> <p>・継続して呼びかけをしていき、意識の高揚に努めたい。</p> <p>・家庭学習については、「提供する側の工夫」も必要である。</p> <p><b>【2 学年】・3 年生で</b>  は多くの機会で指導されることがないように声掛けしたい。</p> <p>・取り組みとしては良かったので、継続</p>	<p><b>C</b></p> <p><b>C</b></p>	<p>数値目標に届かないから自己評価として謙虚な評価になることは理解できる。しかし、外部評価としては取り組みの方法や様子、経過を評価したい。生徒への意識づけや学校、学年部の取り組みは十分なものと考える。</p> <p>同上の生徒指導の取り組みと同じ。説明にあった知徳 G P での今後の取り組みに期待して</p>	<p><b>B</b></p>
--	--	---	--	---------------------------------	--	-----------------

	<p>・ GP 評価の実施と年度向上率 100% の達成</p> <p>・ 学年委員会の実施（各学期 2 回・年間 6 回）</p> <p><b>【2 学年】項目 3 生徒指導：</b>  <b>重点目標：</b> 自律的な思考・行動の育成  <b>具体的取組：</b> ・グリーンカード 1000 枚発行、プレミアムカード発行</p> <p>・ 進路への早期アプローチ（3 月までに志望校・志望職種の決定 100%）</p> <p><b>【商業情報】 項目 2 進路指導</b>  <b>重点目標：</b> 進路実現のためのビジネスマナーの向上  <b>具体的取組：</b> 進路実現に向けて各種検定の上級に取り組む。</p>	<p>0 の日は無し）→多少なりとも意識付けはできたと思われるが、達成できなかったことは残念である。</p> <p>・ 知徳 GP を独自に評価した。9 項目中 8 項目に肯定的評価が向上した。「レジリエンス」については低下していた。否定的評価で「自己肯定力」が大きく増加している。</p> <p>・ 各月 1 回をめどに実施 2 学期までに 6 回実施。→学年委員の意識も高く、新たな生徒自治の可能性がみえてきたが（頭髪再検ゼロの呼びかけ等）、活かしきれなかったのは残念。</p> <p><b>【2 学年】</b> グリーンカード発行 390 枚、プレミアムカード未実施→昨年度 1000 枚達成できたことを考えると、今年の結果は残念であった。GP 評価の「自己肯定力」に影響があるのではないかと考える。</p> <p>・ 2 月 14 現在面談が徐々に始まっているため、評価が難しい。しかし、生徒たちの進路意識が日常生活や学習の表れに出ている。</p> <p><b>【商業情報】</b>・ 商業を学ぶ生徒の高校卒業後の進路先の明確化が入学する生徒の増加に繋がる。専門学科枠を利用した進路実現に向け進学指導部との連携が必</p>	<p>したい。</p> <p>・ 項目ごとに分析的にし、日常の教育活動に活かしていきたい。</p> <p>・ 様々な可能性があるので、他学年とも連携して発展させていきたい。</p> <p><b>【2 学年】</b> 生徒たちの頑張りや、姿勢を形で評価することはやはり大事である。積極的に渡していきたい。</p> <p><b>【商業情報】</b> 学科や教科内で常に上級を目指す生徒の現状を把握し協力した体制作りを行っ</p>	<p><b>C</b></p> <p><b>C</b></p>	<p>今年度、カードの配布枚数が少なかった原因はどこにあるのか。学年進行によって生徒の成長があり、昨年よりも配布条件が厳しくなっていることも想定される。しかし、小さなことでも評価されることは大切なことで、生徒にとっては見てもらっているという意識づけになっている。</p> <p>中学生や保護者の専門学科離れ、普通高校志向が強まっているのだろうか？知徳高校の専門学科の魅力を伝える実践を継続してほしい。情報ビジネス</p>	<p><b>B</b></p>
--	--	---	--	---------------------------------	--	-----------------

	<p>・生徒・教師が共に「進路開拓」できるような体制をとる。</p>	<p>要。また、商業高校を目指す中学生は就職希望が多い。事務職など高校時代に身につけたスキルを活かせるよう就職指導部と連携し、地元企業で活躍できるような人材育成対応を検討する必要がある。</p>	<p>ていきたい。専門課程枠を利用した受験に対応する新教育課程を早急に検討するとともに特色ある商業教育の実践を検討する。</p>	<p>科で次年度からコース名を変更して教育課程を変更していくなど、魅力化は見える。今後も努力を継続してほしい。</p>	<p><b>B</b></p>
--	------------------------------------	---	--	---	-----------------